れんごう中越地協

第766号2012.11.1
連合中越地域協議会
長岡市東蔵王2-2-68
TEL 0258-24-0515
FAX 0258-24-8930
発行人　矢島　良彦
定　価　１部１０円
購読料は会費に含む

第11回連合中越幹事会開催

年次総会に向けて議案の集中審議

第1日目審議終了後には、見附地区支部役員と交流懇親会で意見交換する

連合中越は第11回幹事会を見附市で開催した。幹事会では、第22回年次総会議案の集中審議と当面する諸課題を協議した。また、第1日目終了後は、見附地区支部役員会との交流が持たれ、活発な意見交換が図られた。

連合中越第11回幹事会は、10月12日(金)から13日(土)にかけて開催された。

開催にあたり、矢島議長からは「今年度、栃尾支部が解散となった。地協統合後の議案審議も各支部一巡したが、統合後の運動は低下させずに推進する思いでやってきた。各産別・幹事役員の努力で今日があるし、地協としても知恵を出してできる事をやってきた。次へ向けた運動を前向きに進めたい」等の挨拶があった。

事務局報告では、第10回幹事会(9月25日)以降行ったSJネット委員会スポーツ交流や柿川周辺清掃と歴史探訪の集い、各支部の活動状況が報告された。また、議案審議を除く審議事項では、当面する諸会議日程をはじめ、秋の相談ダイヤルキャンペーン街宣行動(中越地協エリアは10月20日から22日)、生き心地のよい地域社会をめざしてin見附への対応等について審議決定した。

引き続き、第22回年次総会議案について集中した審議が行われた。第1日目は、2012年度活動のあゆみとして活動報告、決算報告を協議し20時には1日目の審議を中断して、見附地区支部との交流会を行った。

第2日目は前日に続いて、2013年度の重点課題、各専門部について各担当から提案の後に審議し、文言の統一、加筆事項、注釈記載の内容等について決定した。また、支部交付金を含めた予算案を編成した。

連合新潟 秋の労働相談ダイヤル

最低賃金改定周知等キャンペーン街宣

連合新潟2012秋の労働相談ダイヤルキャンペーン街宣行動が10月15日(月)に連合上越地協をスタートした。これは、2012年度の新潟県最低賃金(時間給689円に改定。10月5日発効)の周知と相談ダイヤルのPRを街宣キャラバンするものだ。

連合中越地協エリアは、10月19日に連合柏崎地協から引き継ぎ、翌20日には十日町支部と南魚沼支部、21日には北魚沼支部と小千谷支部、22日には人通りの多い長岡市エリアと見附市エリアを経由し、連合県央地協へ引き継いだ。

街宣では、所々でティッシュやチラシを配布し、最低賃金違反撲滅に向け行動を行った。活動は連合新潟HPで照会している。

連合中越地協

12年度決算監査受講

連合中越は、12年度末決算監査を10月18日(木)18時15分から受けた。

当日は、片桐、富所両監査が現金・預金、決算関係書類ならびに各支部会計状況・関係書類・監査報告書等を監査した。監査結果は、11月16日開催の連合中越第22回年次総会で報告される。

東蔵王2 ≪No.93≫

副議長
小川　正巳

暑い夏が終わり、厳しい残暑がついこの間までであったかと思っていたら、すっかり秋の風情にかわりました。最近では、すっかり寒い朝になり、また雪の季節が近づいています。連合中越も11月16日の年次総会で1年間の活動を総括します。お疲れ様でした▼2012年はどんな年だったでしょうか？まだ、この1年間を振り返るには早い気もしますが、昨年の東日本大震災から1年半が経過し、被災地は2年目の冬を迎えようとしています。震災がれき処理などの問題はまだ解決をせず、原発非難区域からの避難者や仮設住宅での生活者は苦労を強いられている▼そんな中で、被災市町村復興予算の執行率が、何と格差15倍超となっているそうだ。平均執行率は48%。執行率が低い市町村の背景は様々あると思うが、がれき処理などの事業をおこなうための住民との合意形成の遅れや人員不足だそうだ。徐々に生活が普段どおりに戻るにつれ通常業務の円滑かも求められ更に人員不足が想定される▼日本経済も閉塞感が日に日に募るが、こんな状況を打破するにはやはり政治力だと思うが、残念ながら永田町はどこへ向うのか、臨時国会で2012年の予算執行に必要な公債発行特例法案の審議がまっている。法案成立の成否で更に経済状況は厳しさを増すのか？寒い冬は避けたいものだ…。

講師：清水 康之 氏

NPO法人「自殺対策支援センター ライフリンク」 代表
自殺対策全国民間ネットワーク 代表
BS11「INside OUT（無料放送）」キャスター（第一、第三「火曜日」担当）
内閣府「自殺対策推進会議」委員
東京都「自殺総合対策東京会議」委員

★清水 康之 プロフィール

平成24年
１１月１８日(日)
13:00～16:00
(開場/受付開始１２：３０)
★第1部：講 演 会 13：00～14：30
★第2部：シンポジウム14：45～16：00
見附市保健福祉センター
(見附市学校町2-13-30)

いのち支える
平成24年度 新潟県地域自殺対策緊急強化民間団体事業
参加無料
生き心地のよい
地域社会をめざしてｉｎ見附

サラリーマン川柳（字が出ない パソコン見たら なまってた）（「ご飯いる？」「いる」の返事で 妻不機嫌）（きれいより うまいと言われる 化粧法）（やせたよと 体重計の 縁に乗る）

サラリーマン川柳（「気にするな」言われて初めて 気にしだし）（年毎に 賀状遠慮の 数がふえ）（吸いだめを して乗り込んだ 禁煙車）（新人に 敬語で仕事 頼みます）

連合中越加盟単組紹介 6

―― 石油開発労働組合 長岡支部 ―

私たちの職場は、貴重な地下資源である石油・天然ガスの探鉱から開発、生産、輸送、販売を中心事業とする会社です。

当支部の組合員数は約250名（関連会社等出向者含む）です。組織体制については、委員長、副委員長、書記長の三役の他、外部組織担当の支部委員（1名）や支部執行部の業務執行を補佐する支部委員（10名）を各職場に配置し、組合員への情報伝達や連絡を密にしながら組合活動を行っております。

組合員一人ひとりが組合活動に主体的に係わることで、労働組合は組織としても本領を発揮しうることを再認識し、支部－職場相互のコミュニケーションの活性化を図りながら、活動していきたいと思います。

心と身体を守るセルフケア

お気軽にご相談ください。あなたは“１人”ではありません。
世の中には様々な悩みを持っている人が沢山います。
あなたと同じ悩みを抱えている人もきっといるはず･･･

毎月２回、ながおかライフサポートセンターでは「心と身体を守るセルフケア」を開催いたします。毎回、開催日には専門カウンセラーが配置されます。悩みを抱えた者同士、交流してみませんか？

★悩みを抱えた者同士でおしゃべりしたい
★カウンセラーに悩みを聞いて欲しい
★社会復帰のステップにしたい　等
･･･遊びに来てみませんか？

こんな悩みありませんか？

- □ 周囲の輪に馴染めない
- □ 人とコミュニケーションを取るのが苦手
- □ 自分の”居場所”がない
- □ 心に悩みがある
- □ 家族へも相談出来ずに、１人で悩んでいる
- □ 面接で何回も不採用になり落ち込んでいる

…など

開催日

●毎月第２・第４【木曜日】
●１１：００～１５：００
（この時間帯であれば何時に来ても、何時に帰ってもＯＫ♪）
●長岡市勤労会館２Ｆ　フリールーム
●参加費　無　料
●毎回、専門カウンセラーが配置されます

セルフケア参加者限定

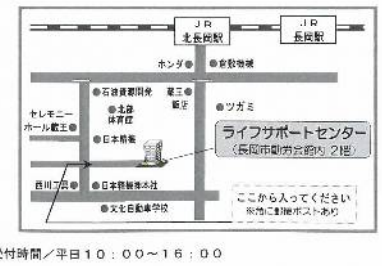
第２・第４【金曜日】には個人カウンセリングを行います。
「心と身体を守るセルフケア」に参加された際、申込みしカウンセラーと日程調整ください。

＊ながおかＬＳＣホームページ＊
http://www.nagaoka-lsc.jp/
※パソコン・携帯から閲覧可能。通信料は利用者の負担です

来局・ご利用の場合は、下記へ事前連絡をお願い致します

ながおかライフサポートセンター
〒940-0029 長岡市東蔵王2-2-68　勤労会館２階
電話 (0258) 24－0535
受付時間／平日 ９：００～１６：３０
FAX (0258) 24-8930

見附市にも事務所があります　ながおかライフサポートセンター 見附事務所
電話 (0258) 63-1797 〒954-0053 見附市南本町2-9-2・受付時間／平日１０：００～１６：００



※生活相談・労働相談等を受付けている「ながおかライフサポートセンター」が運営しています　ながおかＬＳＣ　2012.11月版